

保存活動

美術作品を保存し、後世に伝えていくことは、美術館の持つ重要な機能の一つである。美術館は単に作品を公開するだけでなく、人類の文化遺産たるべき文化財を、適切な形で管理していかななくてはならない。

当館では日常のビル管理、展示室での監視業務に加え、作品への虫菌害対策として、幾つかの活動を行なっている。

展示室・収蔵庫燻蒸

作品が恒常的に設置される場所である展示室、収蔵庫をそれぞれ、殺虫・殺菌処理している。展示室は作品が展示されていない休館期間を選び、ピレスロイド(エンペントリン)炭酸製剤により殺虫する。収蔵庫燻蒸は長期の休館期間を選び、臭化メチル・酸化エチレン製剤による殺虫・殺菌処理を行なってきた。当館収蔵庫は複数箇所にあるため、年度ごとに異なる箇所を燻蒸してきた。

臭化メチル・酸化エチレン製剤が全廃される(下記、「環境調査」参照)のに伴い、本年度は本館、ロダン館両方の収蔵庫全ての殺虫・殺菌を実施した。今後は環境調査と、それに基づく環境改善を主な方策として、作品保全環境を維持していくことになる。収蔵庫や展示室、執務室の環境改善や、修復家による作品の定期的な状態の診断が、重要性を一層増していくことになる。

とはいえ当館は、周囲を緑に囲まれ、人間にとってのみならず、虫にとっても非常に住み心地の良い環境にある。収蔵庫等に大規模な虫菌害が発生した場合には、臭化メチル・酸化エチレン製剤代替薬品を用いての大規模燻蒸も、視野に入れておく必要があるかと考えている。そのための有効な薬品の調査は、今後とも継続する予定である。

環境調査

日本は高温多湿であり、その文化財は虫菌害を受けやすい。短時間で確実な殺菌殺虫を行なうことの出来る臭化メチル・酸化エチレン製剤が、我が国の博物館・美術館で広く歓迎されてきたのは、まさにこの理由による。が、1997年のモントリオール議定書締約国会議において、先進国では2005年に臭化メチルを全廃することが決定し、1999年から削減が始まっている。当館でもこの流れを受け、大規模な燻蒸を行わずに作品の展示収蔵環境を保全する体制を模索してきた。

その過程で有力になってきたのが、IPM(Integrated Pest Management、総合的有害生物管理)と呼ばれる考

え方である。これは、大規模な燻蒸に頼る従来の方法を改め、環境を改善することで有害生物を施設内に入れず、カビ等の発生を防ごうとするものである。

この一貫として当館でも、平成12(2000)年度より外部の委託業者による施設の環境調査を、年3~4回行なってきた。調査するのは

- ①害虫の生息状況
- ②空中の浮遊塵
- ③空中の浮遊菌
- ④付着菌

等の項目である。②③④の項目については、当館は極めて清浄な環境を維持しているが、①については注意を要する。これは施設周囲に緑が多く、文化財害虫にとってもまた良好な環境になっていることによる。当館ではこれらの調査に基づき、害虫の侵入経路と思われる箇所の遮断等を行なっている。

昨年は調査の結果に基づき、1階正面エントランス等にドアスプレーサーを設置した。今年度は、虫の誘導灯の役割を果たしていると想定される蛍光灯や非常灯に、UVカットの防虫フィルムを装着した。また、本館、ロダン館両方の収蔵庫前室入口に、粘着性のソールマットを設置した。

普及活動

大規模燻蒸によらない保存環境保全のためには、施設に携わる者全員の参加が欠かせない。環境をチェックする目が多い程、より多くの情報を集積することが出来るからである。当館ボランティアや、展示室で監視業務に就くミュージズスタッフへの研修は昨年度に引き続き実施されている。また博物館実習の中に「作品の保全について/ IPMの試み」や「収蔵庫内実習」を組み込むことで、当館の環境保全への努力について、美術館外部に理解を求める試みも行なわれている。

災害対策

当館は、その立地条件故に、地震への対策が不可欠である。本年度はこれまでの対策を改めて見直し、強化すべき点は強化し、新規に行なうべき点は洗い出す作業に着手した。これは来年度以降継続して行なう予定である。

1月から年度末にかけては、学芸課職員による災害時の危険箇所チェックを行なった。この際には危険箇所を、次のような等級に分けた。

危険度：A→非常に危険
B→危険

C→やや危険

緊急度：A→緊急に処置すべき箇所

B→処置すべき箇所

C→長期的に処置すべき箇所

これらに基づいて分類された危険箇所を、来年度以降緊急度順に処置していく予定である。

1月18日(火)、19日(水)には、新潟の十日町市博物館、新潟県立近代美術館、長岡市立科学博物館等を訪問し、中越地震(10月23日(土)に初震)の被害状況、またその後の対策や経過を調査した。これは静岡県博物館協会の調査に同行したものである。

主な保存活動の経過

- 5月10日(月) 蛍光灯へのUVカット防虫フィルム装着
- 6月 3日(水)～9日(木) 展示室、収蔵庫殺虫・殺菌
- 7月26日(月)～7月31日(土) 博物館実習
- 8月 2日(月) 外部業者環境調査第1回目
- 10月 4日(月) 外部業者環境調査第2回目
- 11月 1日(月) 本館、ロダン館収蔵庫の前室入口にソールマット設置
- 1月 6日(木) 外部業者環境調査第3回目
- 1月18日(火)、19日(水) 中越地震状況調査
- 2月28日(月) 外部業者環境調査第4回目